

予 算 要 求 資 料

令和2年度9月補正予算 支出科目 款：教育費 項：特別支援教育費 目：特別支援教育振興費

事業名 可茂特別支援学校施設整備事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

教育委員会事務局 特別支援教育課 環境整備係 電話番号：058-272-1111(内 3557)

E-mail：c17783@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 9,044千円（現計予算額：101,000千円）

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その 他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	101,000	0	0	0	0	0	0	75,700	25,300
補 正 要求額	9,044	0	0	0	0	0	0	7,100	1,944
決定額	9,044	0	0	0	0	0	0	32,700	▲23,656

2 要求内容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

- ・児童生徒180人規模を想定して整備されたが、児童生徒の増加に伴い、狭隘化への対応が喫緊の課題となっている。
- ・全校児童生徒数が274人、69学級で29教室不足している(R1.5現在)。
- ・これまで特別教室等を普通教室に転用して対応をしてきたが、これ以上の転用が困難な状況である。
- ・特別教室を転用しているため、各教科の授業に支障がでている。
- ・90人規模の職員室に153人が執務しており、産業医から執務環境の改善、職員休憩室の設置について指導を受けている。
- ・全校児童生徒の約7割が居住している可児市、美濃加茂市、富加町の人口は今後も減少しない見込みである。（統計課データによる）
- ・全校児童生徒の約1割が外国人児童生徒であり、増加傾向である。
- ・高等部の知的障がい生徒のうち、障がいの程度が軽度の割合が約5割であり、職業教育や就労支援体制の強化を図る必要がある。
- ・令和2年4月より実施設計に着手し、屋外トイレ工事及び造成工事の計画が

確定したため、令和2年度分の工事費及び工事監理費、令和3年度分の債務負担行為の設定について予算要求を行う。

(2) 事業内容

- ・可茂特別支援学校の狭隘化の解消を図るため校舎を増築する。

(3) 県負担・補助率の考え方

- ・県立学校のため県が負担

(4) 類似事業の有無

- ・無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	505	屋外トイレ建築工事監理費の令和2年度分
工事請負費	8,539	屋外トイレ建築工事の令和2年度分
合計	9,044	

決定額の考え方

財源については、減収補てん債を充当します。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/>	新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/>	継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
可茂特別支援学校の狭隘化解消のため、令和4年度を予定とし校舎の増築整備を行う。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値 <small>（前々年度末時点）</small>	目標	達成率
	(H)	(H)	(H)	(H)	(R)	%
	(H)	(H)	(H)	(H)	(R)	%

○指標を設定することができない場合の理由

1校の校舎整備であり、指標設置は適切でない。

（前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

（前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い 	
(評価)	校舎の狭隘化は切迫した状況にあり、校舎整備の必要性は高い。
○	
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 狭隘化が顕著であり、計画的な施設整備により解消を図る。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 狭隘化解消に向け、計画的に校舎整備を実施する。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課 組み合わせる理由や期待する効果 など	<div style="text-align: right;">【○○課】</div>
--	---